

さいたま市公民館運営審議会第4回会議 議事録

1 開催日時

平成30年5月22日（火） 午前10時00分から11時20分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階 講座室1・2

3 出席者名

〈委員：11名〉

- ① 山中 冴子 副委員長
- ② 石田 玲子 委員
- ③ 碓井 麻由美 委員
- ④ 加藤 正晴 委員
- ⑤ 金今 義則 委員
- ⑥ 島田 正次 委員
- ⑦ 中澤 輝夫 委員
- ⑧ 長谷部 美紀代 委員
- ⑨ 堀杉 幸子 委員
- ⑩ 山崎 秀雄 委員
- ⑪ 山田 玲子 委員

〈拠点公民館職員：10名〉

- | | |
|----------------|-------|
| ① 西区 指扇公民館長 | 森田 隆之 |
| ② 北区 大砂土公民館長 | 山本 修一 |
| ③ 大宮区 桜木公民館長 | 黒須 雄児 |
| ④ 見沼区 大砂土東公民館長 | 柳 潤子 |
| ⑤ 中央区 鈴谷公民館長 | 掛川 雅世 |
| ⑥ 桜区 田島公民館長 | 押田 龍彦 |
| ⑦ 浦和区 岸町公民館長 | 井出 浩史 |
| ⑧ 南区 文蔵公民館長 | 星野 務 |
| ⑨ 緑区 大古里公民館長 | 島村 光一 |
| ⑩ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 宮崎 通夫 |

〈事務局：7名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 野崎 隆史
- ② 副館長 大嶋 真浪
- ③ 主幹兼管理係長 釜 浩美
- ④ 事業・企画係長 荻原 唯史
- ⑤ 事業・企画係主任 榎 進吾
- ⑥ 社会教育指導員 井上 裕未
- ⑦ 社会教育指導員 伏見 浩美

4 欠席者名

〈委員：4名〉

- ① 佐伯 加寿美 委員長
- ② 久保木 央 委員
- ③ 小池 茂子 委員
- ④ 山崎 栄慈 委員

5 議題

- (1) 公民館の特色を考える 職員意見交換会の実施報告について
- (2) 平成30年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の事業計画について

6 配布資料

- (1) 本日の会議次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第4回会議出席者名簿
- (3) さいたま市公民館運営審議会第4回会議席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会第3回会議議事録(案)
- (5) 平成30年度公民館の特色を考える職員意見交換会まとめ(資料1)
- (6) 平成30年度当初予算の概要(一部抜粋)(資料2)

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

審議冒頭、前回(さいたま市公民館運営審議会第3回会議)の議事録について、承認を経て議事に入った。

議題1の「公民館特色を考える職員意見交換会の実施報告」について、事務局より（資料1）に基づき、職員意見交換会の動画を視聴しながら説明した。

| | |
|--------|---|
| 山中副委員長 | <p>どうもありがとうございました。動画を見せていただいて、まるで昨日のことにように思い出されて、そうだったなという気持ちに個人的にもなりました。ということで、議題1について御説明をいただいたということになります。今日は御参加の委員の皆様がこの日も御出席だったというふうに思いますので、是非これより御意見を伺いたいと思っております。皆様それぞれ動画にも少しございましたけれど、グループに入っていたかどうかということもしていただきましたし、私もちょっとうろうろひとつのグループでもうすでに委員さんの入っているところに思わず入っちゃったみたいなのをやっていたのですが、入っていただいて公民館の職員の皆さんの声を伺ったかなというように思うのですが、そのようなことも含めまして御感想などを率直にお伺いできればと思っております。ぜひ率直な御意見、御感想をお聞かせいただければと思います。よろしく願いいたします。御自由にぜひ御発言いただければと思うのですけれども、いかがでしょうか。</p> |
| 山田委員 | <p>職員の方がとても積極的にいきいきと参加していらして、自分の働いている地域のことをとても愛しているのが肌で感じられてとても嬉しいと感じました。特に最後に皆さんでキャッチフレーズを順番に発表したところは、素晴らしいなと思いました。あと、たぶん地域の方が誇りに思っているその地域の魅力というのがこれから見つけられると良いのではないかなと思うので、この先職員さんと地域の方が、その地域のことについて共有、理解し合えるような場ができたらいいなかなとイメージが浮かびました。</p> |
| 長谷部委員 | <p>まず佐伯委員長のスムーズな運営といいですか、リードによりまして大勢の方が、とてもてきぱきと動いて、次から次へと課題に挑戦できたことに本当に感動いたしました。個人的にはそういう機会が少ないものですから、とても感動いたしましたし、円卓を囲んで課題を書くことによって、それぞれが意見を共有することができましたので、これからは生かしていけるのではないかなというふうにも感じました。</p> |
| 石田委員 | <p>今回初めていろんな御意見を伺えて、館長さんも生涯学習総合センターにとっても、役に立ったのではないかと思います。このような機会を定期的に設けてやられた方が、職員さんも何年かごとに公民館を変わられてしまうということがあるので、その特色をずっと今後も皆さんで共有できるようなそんな仕組みを作っていけたら良いのではないかと思います。</p> |
| 金今委員 | <p>今の御意見に賛成です。私も公民館に勤務していた経験がありまして、その時は3年間だったのですが、一つの公民館に職員が4人しかいない。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>その4人でいつも頭をひねって色々なことを考えている、そうすると新しい意見がなかなか出てこなかったりしますので、このように色々な人と交流をして、色々な新しい考えというのが出てくるのかな、というのは思いました。今、小学校に勤務しているのですが、今、学校も地域ととても繋がりがあっているところがあります。学校でも地域と繋がりを、地域の色々な教育力を生かしなさいと言われていたので、そのひとつが公民館だと思いますので、学校も公民館と協力をしていきたいと思っております。それによって解決する課題というのもたくさんあると思っておりますので、そういうことも検討していただけたらありがたいなと思っております。</p> |
| 碓井委員 | <p>さいたま市で20数年ボランティアをやっているのですが、そのなかであざみ作業所というのがあります。そこで11年音楽のボランティアに携わっていました。障害のある方の作業所で、働くだけではなく、もっと生活に潤いを与えたいし、何か意義のあることをしようということで、月に2回音楽サークルと称して楽器を楽しむ、歌を楽しむ活動をしていたのですが、外部に行けるところがあったら行きたいということで、色々行ける場所を探して社会参加を計画したりしたのですが、受入れ口があってもその方たちと周りの方たちが移動していただくだけでは、その地域の方たちが集まらないと社会参加にならないということが問題になりました。前回私がすごく参考になったのは、この公民館における意見交換のところで、例えば公民館で問題を抱えていてもそれをどう改善したらいいか、その館で相談することはあっても、なかなか解答が見つからなかったようなことが、他の公民館ではこうしているよ、などアドバイスがあって参考になったと思うのですが、そのなかで近隣の学校へ学生ボランティアを募るといことは、素晴らしいなと思っております。それは平成30年度の事業で障害者の生涯学習の推進や、または人権・同和問題の理解を図る講座などたくさんありますけれども、そちらでも役に立っていくのではないかと思いました。私自身とても参考になったのですが、いろいろな事業があっても、障害の方だけ集まるということだとあまり意味がないので、地域の方たち、学生ボランティアが来たりすると色々なイベントが盛り上がるのではないかと思います。というような糸口が、きっかけが見つかったような気がしてとても嬉しかったです。</p> |
| 山中副委員長 | <p>いかがでしょうか。ひとまずは出し切っていただきたいというふうに思うのですが、</p> |
| 山崎秀雄委員 | <p>先ほどの、佐伯委員長さんの話ですけれども、素晴らしい声というか最初の一声でみんなびっくりして、ファシリテーター、ですよ。本当に素晴らしいファシリテーションなので、あのおかげで、何故、今日来ているのだろうと思うような人もいたのかもしれませんが、委員長のファシリテーションが少しずつまとめていったのかな、と。どちらかというとその技法の方が感心したのですが、それをできる人はなかなかいないですよ。</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>ただ、いろいろ挙がってきたものについて、あの短時間で急に自分のところの特性を活かす公民館を提示するっていうのはなかなか難しいと思うので、決してここに挙がったものが100点とか点数をつけるものではないと思うのですけれど、それよりもすごく感じたのは、アイスブレイクがありましたよね。あのアイスブレイクって、ちょっと背中を向けていた人、横を向いていた人から意見を出させるスタートになっていたのですね。こういうことは、今の地域コミュニティにはとても大切だなと感じました。公民館も今、金今委員がお話になったように、限られた人数でアイデアを出そうとしても、どうしても限界があると思います。そういう時に、いわゆる地域内の地域の代表の人たちとかグループだとか、そういう人たちを集めてアイスブレイクじゃないですけど、みんなで意見を出し合うようなところからやってみるのも良いのではないかな。ボランティア団体とかそういうのが地域にいればね。そういう人たちが、私たちはこういうのがやりたいというのを出し合う場ができて、地域の中でこういう人もいるああいう人もいるっていうのが分かってきて、うちの地区はこんな事ができるのではないか、うちの公民館ではこういうことができるのではないか、そんなことに集約できたらもっとももっといろいろな視野が入ってくるのではないか。アイスブレイクというところが、まずなかなかこっちを向いてくれない人たちを集めるきっかけとしてね、それでも嫌な人は出て行ってしまってもいいかもしれませんが、でもそれにきっかけを見つけてボランティア同士が違うボランティア同士のつながりとか、そういうことも可能性としてはあるわけですよ。できるだけ多くの人に参加してもらって、自分たちの地域コミュニティの基礎にしていって、そこに公民館の役割を作っていくというふうにやれたらいいかな、というのをこの間の体験でそう感じたところです。</p> |
| 島田委員 | <p>キャッチフレーズも、公民館の所在する位置でいろいろあると思いますが、私、実は西区の植水公民館の目の前で、100メートル以内にいます。本日、拠点館長が出席しておりますが、植水公民館に民具の保存ということに、非常に特色があるかと思っています。雑然としてはいるのですが、いろんな民具が保存されております。同じものも何種類もあり、非常に珍しい。なぜかいうと、高台のような、高いところの生活や農作業と、低いところの農作業、道具のバランスがとても幅広いのです。田んぼで使うものと畑で使うものでは全然違う。非常にバラエティに富んでいる。県の博物館の場合には綺麗になっているのですが、雑然としている特色は理解してほしいなと思います。また、そういう民具を、学校の社会の時間ですか、あと土曜チャレンジスクールにも開放したり、それには民具の保存会もありますが。もう一つ、公民館の職員について、男女共同で良いのですが、年によって男性ばかりの時、女性ばかりの時があるのです。その辺バランスよくできればいいのかなと。そのバランスが、女性オンリー職場の時と</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>男性の時と、いろいろあるのですが、うまく混合して、公民館を利用する側の方もいっそう和やかになるのではないかと考えています。それは感想です。</p> |
| 加藤委員 | <p>皆さん一所懸命、提案に対して取り組んでいただいたのは、大変嬉しく思っております。もう一つ、公民館というのは地域差が大きいと思います。例えば、浦和や大宮の中心にある公民館と、例えば西区とか桜区など、郊外にある公民館では、そこに住んでいる人の性格というか、そういうものを把握できることが必要かなと。というのは、公民館の職員の方が、その地域差をいかに求めて、それを実現できるような公民館にするということが必要かなと思いました。今回我々も傍聴ということで参加させていただきましたけれども、他の班はあまり見ていないものでよくわからないのですが、地域に馴染むのもそれをどう生かすかということが、公民館の職員の方の力になるのではないかと。そういうものが生まれることが必要かなと思います。統一されたひとつのテーマを求めるとなるとなかなか難しいかもしれないので、できれば公民館というのは文化の伝統みたいなものでございますから、地域の方が活用しそれが自治に生かされるような公民館が必要かなと思います。</p> |
| 堀杉委員 | <p>私も先日参加して、感心していたのですが、私の行っている公民館は岸町公民館で、街の真ん中にあります。音楽室があったり運動ができる体育館があったりするのですが、なかなか会場が取れないのです。地元にながら、なかなか部屋を取れないというのが悩みの種です。</p> |
| 加藤委員 | <p>私も、そういう意見は聞きます。必要な時に取ろうと思ったらもう入っているから駄目だと断られることがあったと。それは今、パソコンで申し込むからというのもあるとは思いますが、公民館の対応としては、事前に何らかの形で表示することも必要かもしれないですね。そういうことを知らないで、公民館で会議室を使おうじゃないかといってもその勢いが阻害されるような、そういうことも生まれてくるのではないかと考えていますね。</p> |
| 中澤委員 | <p>予算との関係にもなると思うのですが、先般配られた予算の中で見ると、公民館自体でやっている事業費は大変に少なく、10%に満たないわけですよ。あとは運営費ですね。ですから、そういう意味では公民館独自の企画というのはなかなか難しい面もあると思います。だから、そういう中でぜひお考えいただけたら、前回の会議の中でも各館の皆さんが活発に御意見を出されていましたよね。そういう中で一つ、公民館ごとに何か目玉事業というか、そんなものを一つ考えてサクセスストーリーを作っていただきたいなど。その一つのヒントとして例えば今、先般の意見の中で若者が集まらないとか色々なことがありましたけれど、じゃあ若者に集まってもらうにはどうすればよいのかとしては、あと数年経つと小学校でコンピュータのプログラム教育が始まります。そこに、お母さんのための小学校のプログラミング教室を公民館が考えてもらって、そこでいろい</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>るとレクチャーしてあげる。そうなると学校教育との関連において、子育て中の母親は大変関心を持ってくれるので、そこに足を運んでくれる。そこに例えば工学部であるとか大学の若者たちを呼んで、簡単なプログラムですから簡単にできると思います。そこに、若者を講師として招いてくるとか、なにか働きかけるのもいい。予算を見てつくづく考えていたのですが、要するに、これだけの少ない予算でやる場合においては、やはり職員の皆さんの企画によるものです。だからぜひ活発な御意見を出していただいて、それをあちこち手配すると大変なことになりますから、一年に一つぐらいの事業をサクセスストーリーとして持っていただけるように考えていただければ、大変ありがたいと思います。</p> |
| <p>山中副委員長</p> | <p>皆様御発言いただき、いろいろな御感想から御意見まであったかと思えます。ワークショップの有効性とか可能性のようなところで御意見御感想がありました。いただいた御意見御感想をいくつか柱として整理できるかなと思っていましたところ。たとえば、公民館の職員の皆さんやこの審議会においても、これから考えなければならないところとして、最初に御発言いただきました、それぞれの地域の魅力というものをどう見つけていくか、そのあたりがあるかもしれません。また、地域の魅力に関わって地域の性格、地域の特色というものを、公民館としてどのように把握し、その先に地域に馴染む企画をどうしていくかということも、宿題のようなところで重要だなと個人的には思いました。</p> <p>また、場所が取れないということもございましたけれども、インターネット上で予約ができたり、便利である一方で、それ以外の手段をどんなふうに保障していくかというところで、情報の提供の仕方のような、具体的な作業のレベルの話かもしれませんが、公民館の機能としての観点として押さえられるかなと思ってお聞きしていた次第です。また、アイスブレイクの機能をより生かした公民館ということや、これは非常に重要だな、非常に興味深いなと思ったのですが、また学校との連携のあり方として、より積極的に連携していけると良いとか、障害者の地域交流や、そこで学生のボランティアをどういうふうに絡めるかというところ、公民館の機能に関する御意見、御発言もあつたと思えます。また、職員さんに関して、何をしてくれというよりも、職員さんに注目しながら今後ということ考えた時に、ワークショップ型の可能性というのはとても大きくて、人が変わってもその情報とか、リソースとかが共有され継続されるように、佐伯委員長のようなファシリテーターが必要なわけですが、ああいう機会がとても重要なのだということを思った次第です。また、先ほど中澤委員の発言にありました、各公民館で目玉企画を年に一個ぐらいで持ち、サクセスストーリーをまずつなげていこうということも、これはある意味公民館の機能なのか、公民館それぞれにとっての今後における宿題のような事かもしれませんが、これとても重要だなと思いました。大きく三つくら</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>いの柱に分けていいのかという気が個人的にはいたしますけれども、皆さんの御感想御意見を頂戴したなというふうに思います。個人的にも勉強になり、大変興味深く参加させていただき、非常に短時間ではございましたけれども、いろいろな職員さんの御意見をお聞きできてありがたかったなという気持ちが強いです。一方、特色という言葉について、難しいと思ひまして、キャッチフレーズが多種多様に出てきましたが、立地の話をするのか、企画の話をするのか、いろいろなベクトルを持った特色のキャッチフレーズがわっと出てきて、そもそも特色というのは何だろうというところで、審議会においても、一定程度の共通理解が必要なかもしれないという気持ちになりました。ただ、まとめのところで佐伯委員長が人づくりだ、地域づくりだということに再度強調されたところをポイントにしつつ特色というのは何なのかというところを、共有もしくは共通理解として持っておくことが重要かもしれないというのが私の感想です。今、御感想と御意見等々お伺いしたのですけれども、今回のこのワークショップについて、なにか事務局に対してお聞きしたいこととかございますか。</p> |
| 山崎秀雄委員 | <p>はい。参加した職員さんの感想かなんかありましたら、ぜひ聞きたいなと思うのですが。</p> |
| 山中副委員長 | <p>そうですね。これからどういうふうにワークショップが活かされていくということも、ちょっと見えやすくなるかなと思うのですが。何かそのあたりありますか。</p> |
| 荻原事業・企画係長 | <p>ただいまの質問について、通常、職員研修においてグループワーク形式で実施した際は、情報共有の場として、その成果を計るため職員に対しアンケートを実施しておりますが、今回の意見交換会は、公民館運営審議会と連動させた新しい形式で、職員研修とは異なる形で開催した関係上、特にアンケートの実施等は行っておりません。</p> |
| 森田指扇公民館長 | <p>昨年度、桜木公民館に勤務していた時に、研修に行った職員にどうだったと話を聞きました。まず、桜木公民館の事例発表した職員からは、自分是一所懸命やった事業を、皆さんに発表できてとても嬉しかったと。参加した職員は昨年度桜木公民館へ来たばかりだったものですから、まず多様性といいますか、いろいろな公民館があるということが実感できて、自分の公民館は自分の公民館でやっていくことはあるけれども、いろんな考え方が職員の中にもあるのだという広い視野が持てたと感想を話していたかと思います。</p> |
| 山崎秀雄委員 | <p>効果測定がどう、ということではないですけど、今のような話が各公民館でそれぞれ考え出していただけると、皆さんが感じていることが早く伝わると思います。ありがとうございました。</p> |
| 山中副委員長 | <p>ありがとうございます。前回の取組は、審議会としては非常に新しい形でしたね。私たちも直前まで知らなかったというか、おお、こういうことをやるのだという、目新しくとても興味深い展開で面白かったですけれ</p> |

| | |
|----------------|--|
| | <p>ども、ああいうものが今後どういう位置づけでやられるのかというところで、参加された方がどういうふうな御感想を持ったかというところが分かれば、確かにありがたいと思います。</p> <p>他に何か御質問等あれば、お願いします。</p> |
| 長谷部委員 | <p>地域の特性を生かすということなのですが、例えば地域によって、準工業地帯だったり、文教地帯だったり住宅地のみとかいろいろあると思いますが、私の住んでいる近くには準工業地帯かもわかりませんが、有名な企業があります。それで、若者を公民館に利用してもらおうという意味で、企業から説明会と言いますか、アピールするような会を持っていただくと、実は若者は30分以内に自転車で行けるところに勤めたいという方も今は多いそうですので、そういう意味で公民館と企業と交流を持つことが可能かどうかということをお聞きしたいと思います。</p> |
| 山中副委員長 | <p>どうでしょうか、事務局。お答えいただけますかね。公民館と企業との連携ですかね。私もちょっとお聞きしたいです。</p> |
| 長谷部委員 | <p>依頼すれば、企業は応えてくれるかなと思います。なので、そういう企画があれば、若者も関心をもって公民館を利用しながら地元にも根付いていただけるかなということも考えられるかと。</p> |
| 野崎生涯学習総合センター館長 | <p>地域に大きい企業、古くからある企業とかある場所もあり、その企業の方と地域の方で交流を図られている場所もあるかと思います。そういう企業と公民館がどんな連携を図っているかということ、実態を把握していないので、考えられることとしては、企業の方に講師を頼むということはあるかなとは思いますが。その他に企業活動と連携するのは、ちょっと難しいかなと思います。</p> |
| 長谷部委員 | <p>そこまでは考えていませんけれども、やはり地域で交流を持つ上で大事ではないかなと思います。例えば、私の知る近くでは世界的に有名な企業がありまして、部門はいろいろあると思いますが、何をやっているかを学ぶことは、若者にとってはとても大事ではないかな、というふうに考えていますので、お話いたしました。</p> |
| 中澤委員 | <p>今の件に付随するのですが、公民館だけで地域の教育活動であるとか活動が固まっているわけではないですね。特にそこには社会福祉協議会もありますし、自治会館もあるわけですね。それよりも独自の企画を持って同じようなことをやっていることはあると思います。ですから、今の問題を解決するのに一番良いのは、協賛金を集めて地域社会にやるとか、公民館はそういうのは難しいでしょうが。自治会館や社会福祉協議会や公民館など、公の機関がお互いに協力し合うということも必要ではないかなと気がします。そうすると、公民館とはできないけれども、こちらの団体ではできるかもしれないということがありますので、必要ではないかと思っています。</p> |
| 山中副委員長 | <p>ありがとうございます。いろいろな御意見をまた、改めていただいたな</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>というふうに思いますが、幅広いネットワークをどう作っていくかというところで、似たような事業がいろいろなところで展開されながらも、公民館としてというところではやはり社会教育の機関だということはどういうふうにそこをぶれずにどうやっていけるかということがポイントと いますか、論点なのかなと思います。</p> <p>本来であれば、拠点公民館長さんからもいろいろな例をお聞きできればと思うのですが、時間に限りがありますので、議題1についてはとりあえずここでいうふうに思うのですが、よろしいでしょうか。たくさん の御意見ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、議題2の方に移らせていただきたいと思います。議題2の「平成30年度生涯学習総合センター、拠点公民館、地区公民館の事業計画について」ですが、こちらは前回の会議に続いての議題ということになりますので、前に配布をいたしましたものを御覧いただきたい と思います。これにつきまして、まずは事務局より、前回の会議で委員の皆様からいただきました質問について御説明いただきたいということで、お 願います。</p> |
|--|--|

事務局より、前回委員より質問のあった、「障害者の生涯学習の推進」と「人権・同和問題の理解を図る講座」について回答した。また、公民館全体の予算措置について、資料（3）に基づき回答した。その後、議題2の「平成30年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の事業計画」について資料（2）に基づいて説明した。

| | |
|--------|--|
| 山中副委員長 | ありがとうございました。中澤委員、どうでしょう。よろしいですか。 |
| 中澤委員 | はい、読まさせていただきます、先ほど申し上げたように直接利用している若い方は大変少ないので、それを有効活用しながら各公民館のスタッフの皆さんの企画力でぜひそれをカバーしていただければと思います。 |
| 山中副委員長 | 私の質問に対しても御回答いただきましてありがとうございました。よく分かりましたし、今年度からということなのでこれからまたどういうふう に発展するのかというところがとても興味深いというふうに思っております。障害のある方を主な対象としたものと、障害のある方に配慮した ものという両方があるわけですが、障害のある方に配慮した事業が主になるとそこに入っていけない障害のある人たちもいっぱいいるわけ ですね。知的障害の方とか。そうすると障害のある方を主な対象とした事業の重要性が非常に大きくなってくると思うので、県内非常に今減って いますけれど、昔から蓄積のある障害のある青年の青年学級のような取り組みというのは今非常に改めて重要な個人的には思ったりもして おりまして、ぜひ今後今年度以降障害のある方を主な対象としたという部分も含めて発展していく様子を興味深く見守っていければというふう に思っております。 |

| | |
|--|--|
| | <p>さて、ではその他にこの事業計画の概要につきまして御意見御質問等おありの方、ぜひ御発言いただきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。ちょっとページ数が多くなっていますが、特にはございませんか。では、恐れ入りますがここまでということとさせていただきますようお願いいたします。これで本日の議題は終わりますけれども、その他に何か御質問とか御意見等おありの方御発言いただければと思うのですけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、事務局から何かございますか。</p> |
|--|--|

事務局より、マイナンバーの継続利用について各委員へ説明をした。また、さいたま市公民館運営審議会から他の会議等に推薦する委員について、さいたま市明るい選挙推進協議委員の任期満了に伴い、新たな委員の推薦依頼があった旨を説明し、引き続き中澤委員をさいたま市明るい選挙推進協議委員に推薦した旨を報告した。

| | |
|--------|---|
| 山中副委員長 | <p>ただ今、公民館運営審議会から他の会議等に推薦する委員について、事務局より報告をいただきました。中澤委員におかれましては、よろしくお願いたします。それでは、本日の議事はすべて終了ということになります。皆様の御協力によりまして、円滑に議事が進みましたことについて感謝を申し上げます。不慣れな議長で大変申し訳なかったのですけれども、たくさん御意見が出た回ではなかったかというふうに思いますので、御意見御感想非常に興味深いものばかりでしたので、これからの審議会の運営や諸々に活かしていかなければいけないという気持ちで、また次回につなげていきたいというふうに思っております。それでは、どうもありがとうございました。事務局に進行の方をお返しします。</p> |
|--------|---|

次回は、7月24日（火）午前10時00分より生涯学習総合センター7階講座室1・2にて開催することを確認した。